



レーベンスバウム通信

Vol.1

誕生ストーリー

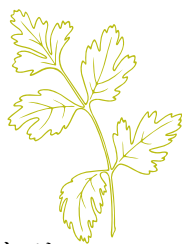
2019.5



レーベンスバウムは、ドイツNO.1を誇るオーガニックハーブブランド。
「レーベンスバウム通信」では、レーベンスバウムの魅力をお伝えしていきます。



ドイツで最も愛される ハーブブランドが生まれた日



「レーベンスバウム」、その始まりはドラマチックでした。1979年のある夏の日、レーベンスバウムの創設者ウルリッヒ・ヴァルターはオーガニック食品店に買い物に行きました。ニンジンやパン、オーツフレークを買いに行ったはずの彼は、店を出た時にはなんとお店をまるごと買っていたのです！その店が閉店をすることを知った彼は、そのお店をまま引き継ぐことにしたのでした。

ヴァルターと妻は、2人で小さなオーガニックショップ「レーベンスバウム」をスタートします。その当時は、質の良いオーガニックティー、コーヒー、スパイスを見つけることが困難で、他のオーガニックショップも同じ状況だと知ります。そこで、ヴァルターはプロバンス地方～遠くメキシコまで旅をし、納得のいく食材を探し求めました。そして、レーベンスバウムは小売店から、現在の生産者へと発展していきました。



大きな木のロゴ
ブランド名の「レーベンスバウム」はドイツ語で「生命の木」を意味します。ロゴの中央には大きく手を広げたように生命力に溢れた木が描かれ、木の頭上にはNatur und Mensch(自然と人間)という文字が入っています。レーベンスバウムが理念とする自然と人間の共存を象徴しています。



自然に囲まれた本社
ドイツ北西部のニーザークサクセン州、Diepholz(ディープホルツ)。目の前には湿原が広がる自然豊かなところにLebensbaumはあります。レーベンスバウムはこの湿原の保護活動にも参加しています。自転車通勤を推奨していて、自転車通勤のポイントがたまると、社員食堂(もちろんオーガニック食材使用!)のランチが無料になるなど、嬉しい特典も用意されています。中には17kmもの距離を毎日自転車で行くスタッフもいるそうです。

レーベンスバウムセミナーのご案内

レーベンスバウムの輸出責任者: ラミズ氏が初来日します!
直接ブランドストーリーを聞ける貴重な機会ですのでぜひ足をお運びください。

2019年5月23日(木) 12:30~16:00(予定)

ブランドセミナースケジュール

12:40~14:10 レーベンスバウム社 ラミズ氏

14:20~15:50 ゲバ社 デスニワティ氏

※各回、試食、試飲のご用意がございます。
※その他詳細、お申込みは別紙ご案内をご参照ください。

《会場》



3x3 Lab Future (さんさんらぼ フューチャー)
東京都千代田区大手町1-1-2 大手門タワー・JXビル1F
最寄駅: 東京メトロ千代田線・半蔵門線・丸ノ内線
大手町駅 C10・C6a出口